

報告事項

1. 令和5年度余市町地域公共交通活性化協議会会計決算報告について 会計監査報告について

本協議会の令和5年度会計決算について資料1-1のとおり報告します。

また、資料1-2のとおり会計監査を実施しましたので報告します。

2. 余市町デマンドバス試験運行実績について

令和6年1月8日（月）～令和6年3月1日（金）において実施しました、「余市町デマンド交通試験運行」について、資料1-3のとおり報告します。

なお、本年度は8月から2月までの7か月間において再度試験運行を検討しております。

運行計画については、6月開催予定の協議会にて協議いただく予定です。

令和 5 年度 余市町地域公共交通活性化協議会会計収支決算報告

収入

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	増減	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	0	0	0	
2 補助金	2 補助金	2 補助金	2,198,000	2,198,000	0	国補助金 地域公共交通確保維持補助金 (運行費) 1,637,000 円 地域公共交通確保維持補助金 (減価償却) 561,000 円
3 繰越金	3 繰越金	3 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	4 諸収入	4 諸収入	0	5	5	預金利息
合計			2,198,000	2,198,005	5	

支出

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	増減	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	0	0		
	2 事務費	1 事務費	1,000	770	▲230	振込手数料
2 事業費	1 事業費	1 事業費	2,197,000	2,197,230	230	循環線確保維持補助金
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
			2,198,000	2,198,000	0	

収入済額 2,198,005 円

支出済額 2,198,000 円

差額残額 5 円 (令和 6 年度へ繰越)

令和 5 年度会計監査報告について

令和 5 年度余市町地域公共交通活性化協議会の収入支出に係る関係帳簿、
出納調書等を監査した結果、適正に記帳処理されておりますので、ここに報
告致します。

令和 6 年 4 月 22 日

余市町地域公共交通活性化協議会

監 事 高 松 久



監 事 高 野 清 隆



余市町デマンド交通試験運行実績

運行期間：令和 6 年 1 月 8 日（月）～ 3 月 1 日（金） 計 24 日間

余市町デマンド交通試験運行実績

事業概要

(1)目的

地域公共交通計画に基づき、持続可能な交通手段による町内公共交通空白地域の解消を図ることを目的に、デマンド交通を実証的に実施し、公共交通空白地域と市街地を結ぶ交通モードの実現を目指す。

(2)運行地域

- ①「栄町・登町方面」(栄町区会・登町区会の地域)
- ②「美園町・山田町方面」(美園町区会・山田町区会の地域)
- ③「梅川町・沢町・豊丘町方面」(梅川第1区会・沢町第3区会・豊丘町区会の地域)

(3)運行内容

運行期間：令和6年1月8日(月)～3月1日(金) 各地区週1回運行(全24日間運行)
(月曜日：「栄町・登町方面」 水曜日：「美園町・山田町方面」 金曜日：「梅川町・沢町・豊丘町方面」)

運行方法：電話予約制・固定ダイヤによる自宅-連絡施設間の送迎

運行便数：午前1往復(往：9時便 復：11時便) 午後1往復(往：14時便 復：16時便)

連絡施設：共通施設：余市町役場、JR余市駅、コープ余市店、イオン余市店、余市協会病院、よいち水産博物館
方面別：「栄町・登町方面」 栄町農業構造改善センター、黒川八幡生活館
「美園町・山田町方面」 ラルズマート入舟店、福祉センター入舟分館、山田町構造改善センター
「梅川町・沢町・豊丘町方面」 福祉センター本館、ラルズマート西部店

使用車両：日産 キャラバン(10人乗)

(4)運行事業者

小樽つばめ交通株式会社余市支店

(5)周知方法

周知チラシ：広報よいち11月号 運行地域内全戸折込配布

利用ガイド：利用登録者へ郵送配布、HP掲載

デマンド交通による新しい公共交通サービスの試験運行を行います。
令和6年1月8日～令和6年3月1日

登録制 予約型 乗り合い

デマンド交通とは、利用者の予約に応じて運行する公共交通サービスです。余市町では、固定した連絡施設と利用者の自宅を予約に応じて固定ダイヤで運行を行います。

①利用を希望する場合、事前に登録・利用登録を行います。
②利用したい乗車日時・乗車人数を予約します。
③連絡施設と自宅間の乗り合いバスが送迎されます。

※本括行は有料となります。

お問合せ ☎0135-21-2117

▲周知チラシ

▼利用ガイド

連絡施設及び運行ダイヤ

往路	連絡施設	運行日時	折込先
1	栄町農業構造改善センター	9:00	14:00
2	余市協会病院	9:11	14:11
3	黒川八幡生活館	9:27	14:27
4	イオン余市店	9:32	14:32
5	コープさくら余市店	9:38	14:38
6	余市町役場	9:41	14:41
8	よいち水産博物館	9:45	14:45

乗降施設

- 1 栄町農業構造改善センター
- 2 余市協会病院
- 3 黒川八幡生活館
- 4 イオン余市店
- 5 コープさくら余市店
- 6 余市町役場
- 7 余市協会病院
- 8 よいち水産博物館

利用料金 無料

運行地区：栄町・登町方面
余市町デマンド交通利用ガイド
(令和6年度実施運行版)

余市町では利用者の電話予約に応じて、**折居のニーズと連絡施設の固定ダイヤ**で運行するデマンドバスを試験運行します。

ご利用方法

1. 利用登録
2. 予約
3. 乗車

ご利用の予約は、電話予約(0135-21-2117)で行います。

1. 電話予約
2. 予約
3. 乗車

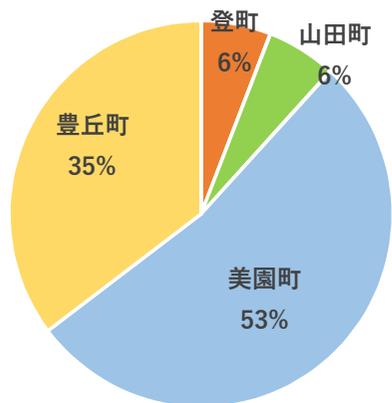
1. 電話予約
2. 予約
3. 乗車

お問合せ 余市町福祉課 0135-21-2117
利用予約 小樽つばめ交通株式会社 0135-3111

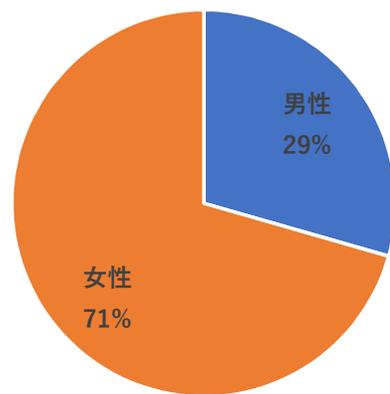
余市町デマンド交通試験運行実績 アンケート結果

(1) 回答者属性

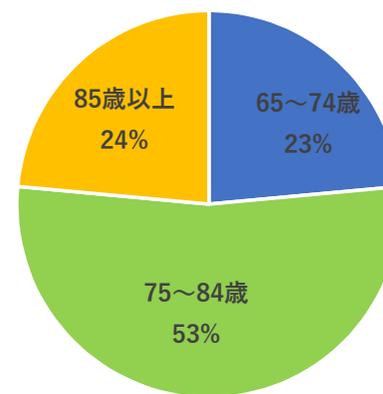
① 居住地域



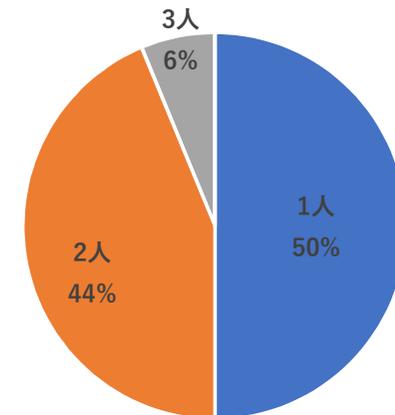
② 性別



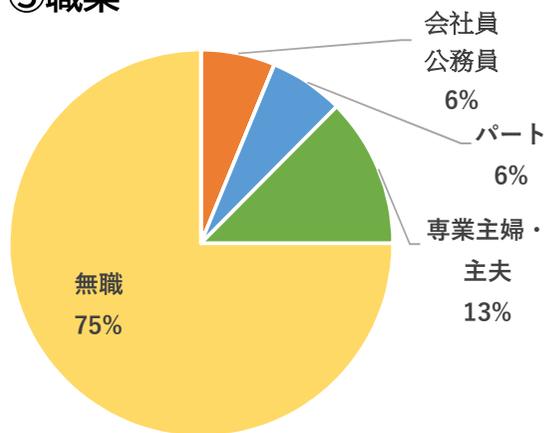
③ 年齢



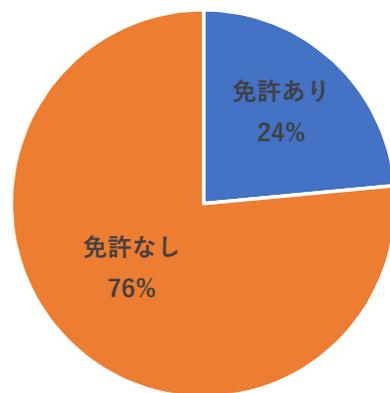
④ 世帯構成



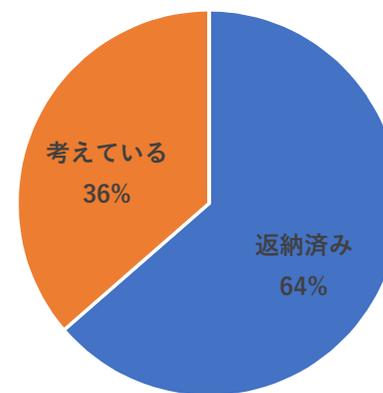
⑤ 職業



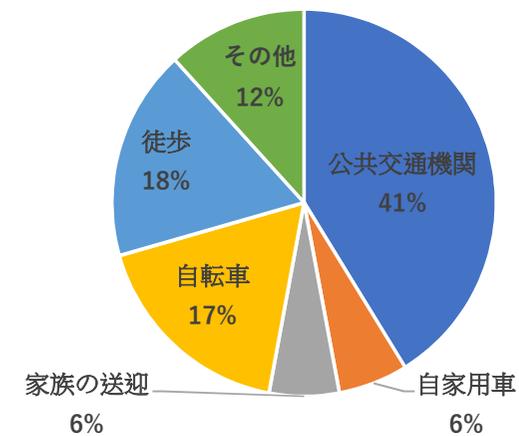
⑥ 運転免許



⑦ 運転免許返納



⑧ 日常の移動手段

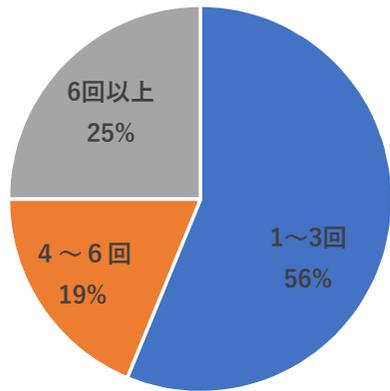


余市町デマンド交通試験運行実績

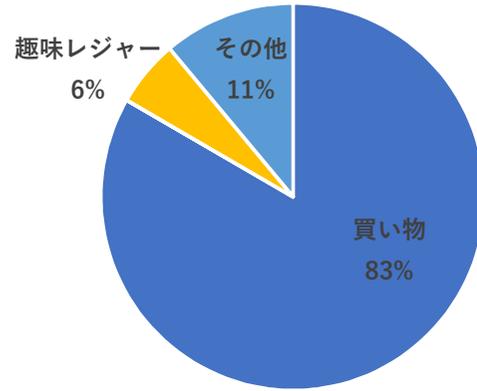
アンケート結果

(2)利用について

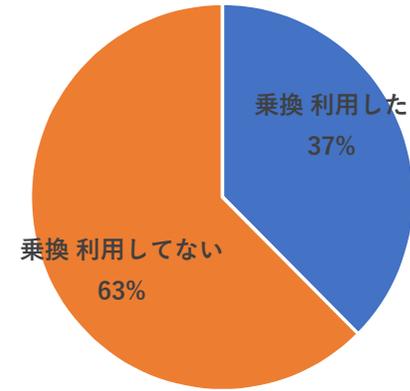
①利用回数



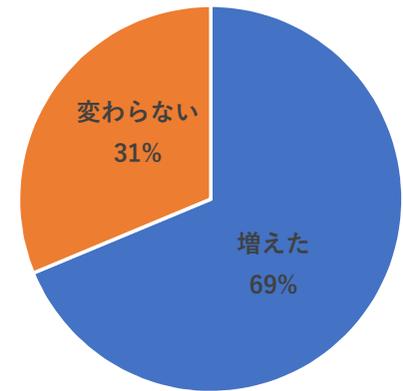
②利用目的



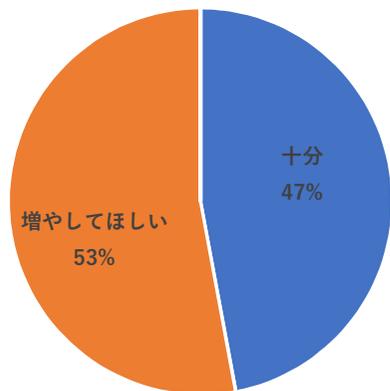
③乗換利用



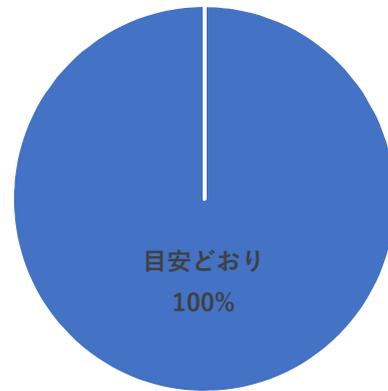
④外出頻度



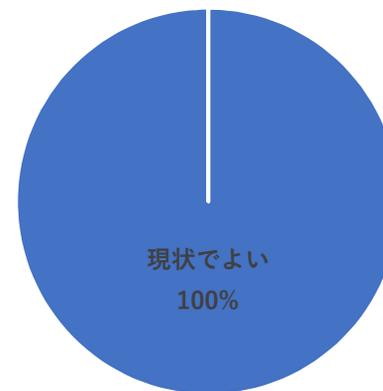
⑤運行便数



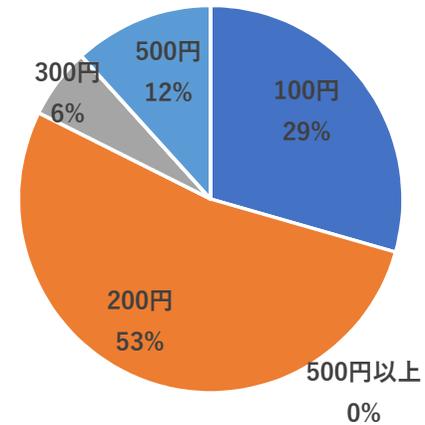
⑥定時制



⑦予約方法



⑧本格運行の場合の運賃

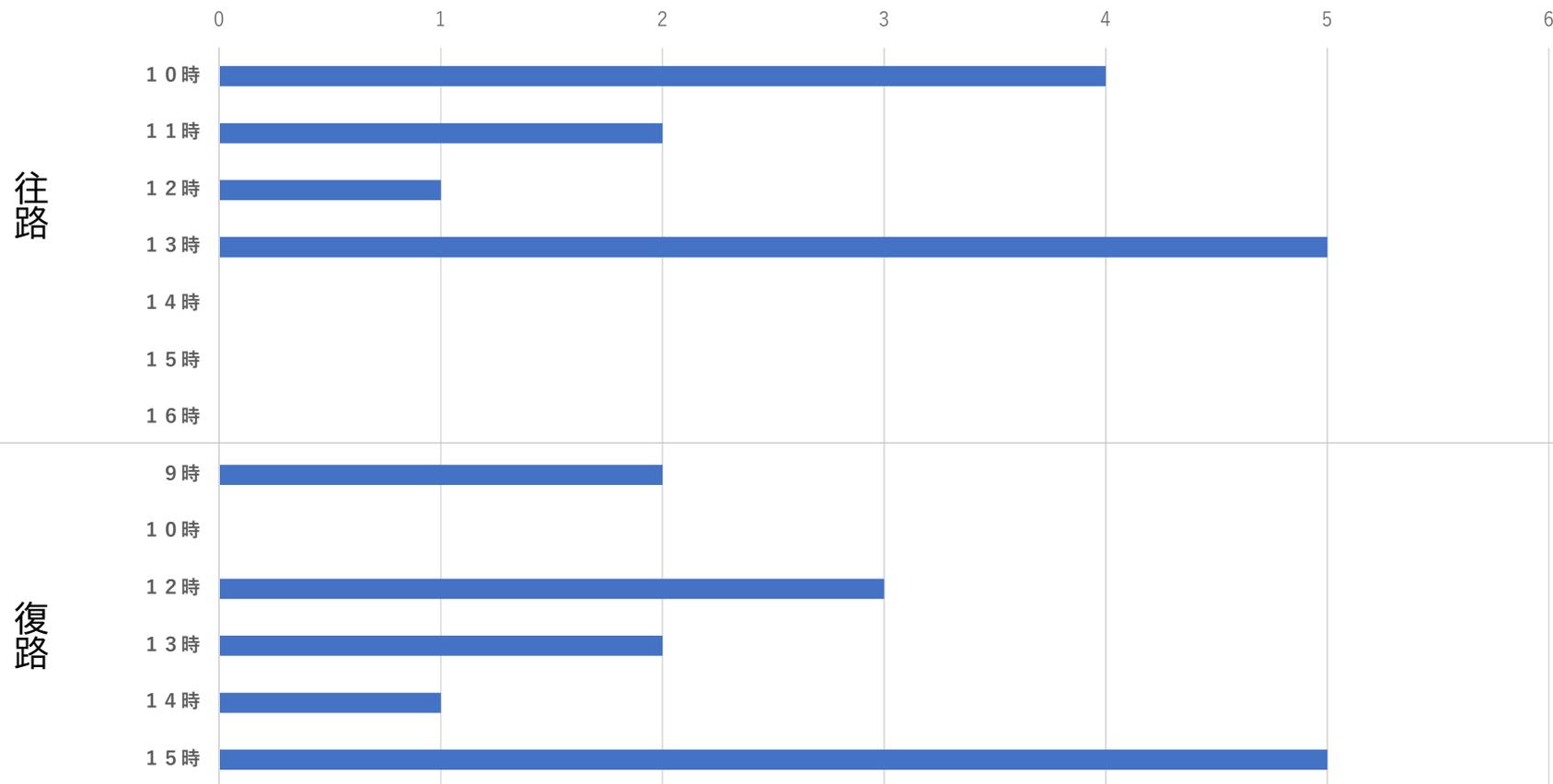


余市町デマンド交通試験運行実績

アンケート結果

(2)利用について

⑨設定してほしい時間

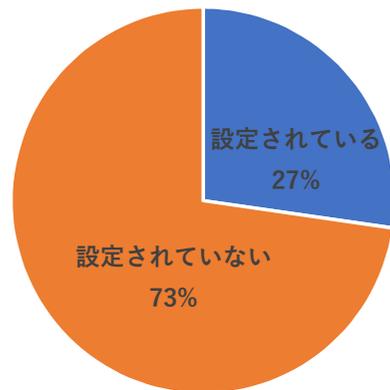


余市町デマンド交通試験運行実績

アンケート結果

(2)利用について

⑩連絡施設(利用したい施設)について



希望経由地(自由記載)

- ・公民館前(複数件)
- ・歯医者
- ・病院(中島内科、よいち整形他)
- ・銀行
- ・ケースデンキ

⑪その他(自由記載)

- ・実現することを願っています。
- ・駅前十字街で降りたいです。
- ・大川町への運行を考えてほしい。
- ・とてもいいと思う。
- ・路線の途中で医者等下車させてもらいたい。
- ・利用頻度の高いところは下車させてもらいたい。
- ・途中で下車したい。
- ・コミュニティバスなどとの連携を明示していただくと利用が増えると思う。
- ・病院・よいち整形の下車を希望します。

余市町デマンド交通試験運行実績

総括(実績及びアンケート結果より)

(1)利用者属性

- ・利用者は全方面の中で、「美園町・山田町方面」が最も多い結果となり、全体の約57%となった。
- ・利用登録を行ったものは全方面合計で51名、男女比約3:7、平均年齢約78歳であった。
- ・利用者の多数が日常で公共交通機関を利用しており、デマンドバス運行によるタクシーとの競合による影響はあまり見られなかった。
- ・試験運行が平日における運行であったことから、利用者のほとんどが無職の方や専業主婦(夫)であった。

(2)利用について

- ・試験運行期間(2ヵ月間)全体で218名の利用があり、1便平均3.3人の利用があった。
- ・アンケートの結果から、最も多い利用目的は「買い物」であり、他公共交通機関への乗継利用はあまり見られなかった。
- ・デマンドバスの運行により、「外出頻度が増えた」と答えた方が約7割となり、交通不便を要因として外出を控えている方が一定数見られた。
- ・利用者の大半が高齢者であり、AIなどの予約方法よりも電話による予約方法が需要に合致していたものと考えられる。
- ・利用を希望する時間帯は往路が午前、復路が夕方を望む回答が多く、試験運行の運行時間とおおよそ合致するものの、増便を望む回答が多くあった。
- ・冬期間における試験運行であったため、天候等によるダイヤ(目安時刻)の乱れが懸念されたが、概ね計画どおりの運行ができた。
- ・本格運行時の料金設定については、半数以上が200円以下となり、町内循環バス(余市循環線)と同額を望む回答が多かった。
- ・連絡施設は生活必要施設(スーパー等)と公共施設を中心とした設定としたが、利用者からは銀行や病院等を希望する回答が多くあった。
- ・運行地域の居住世帯数に対する利用(登録)世帯数は約4%と低い結果であったが、利用者からは継続運行を望む声が多くあった。

余市町デマンド交通試験運行実績

総括(実績及びアンケート結果より)

(3)検証・評価

- ・利用者が高齢者層中心となり、福祉事業として認知されている様子があったため、幅広い年齢層が利用できる対策が必要と史料。
- ・利用実績は一定数の利用があったものの、利用登録者は対象世帯ベースで約4%と低率のため、さらなる周知が必要。
- ・連絡施設(経由施設)については生活必要施設(スーパー等)に利用が集中し、公共施設の利用はごく一部であった。
一方、アンケートでは病院(クリニック)や銀行(商店街地域)を希望する回答が多くみられたため、ルート of 再検討が求められる。
- ・高齢者等の利用が中心となることを想定して電話による予約方法で実施した結果、利用者からの課題指摘はなかったものの、往路における迎車の時間が運行直前まで確定せず、利用者が家先で待つ時間やバスの待ち時間が発生することがあった。
- ・降雪の状況によって、住宅地内の狭隘な道の通行が困難なことがあった。
- ・本格運行時における運賃について、200円程度(町内循環バスと同額)を望む回答が多かったが、試験運行における利用者ベースで収入を試算すると約4.3万円となり、対事業費の約3%であった。
利用者からは継続を望む回答が多くあった一方で、持続可能な公共交通機能として成立させるための受益者負担について検討を要する。
- ・試験運行の対象地域については、町内を經由・運行するバス路線に面していない区会を対象として実施したが、区会によってはバス路線に面していても範囲地域が広く、バス停(路線)が遠くに位置する住宅があることから、対象地域の選定について再度検証を行う。
- ・試験運行において、乗客定員(8名)を上回る予約便が1度あった。(予約については先着順)
利用者の増加によっては運行便の予約が上限に達する機会も増加することが想定されるため、利用者の平等な機会確保のため、予約方法について改めて検討が必要である。